

令和5年度

事業報告書

一般財団法人長寿社会開発センター

# 令和5年度事業報告書

## 目 次

第1	理事会・評議員会の開催	1
第2	センターの事業	
I	高齢者の生きがいと健康づくり推進事業	2
II	地域包括ケア推進事業	4
III	長寿社会に関する調査研究事業等	8
IV	出版事業	9

## 第1 理事会・評議員会の開催

### (1) 第1回理事会

定款第50条に基づき書面表決による開催とした。

書面表決日 令和5年4月25日

議決事項 令和5年度第1回評議員会の開催について

### (2) 第2回理事会

日 時 令和5年6月12日

場 所 一般財団法人長寿社会開発センター第一会議室  
及びオンライン会議システムzoomを併用

議決事項 1) 令和4年度事業報告について  
2) 令和4年度収支決算について  
3) 令和4年度公益目的支出計画実施報告書について

### (3) 第1回評議員会

日 時 令和5年6月27日

場 所 一般財団法人長寿社会開発センター第一会議室  
及びオンライン会議システムzoomを併用

議決事項 1) 令和4年度事業報告について  
2) 令和4年度収支決算について  
3) 評議員の選任について  
4) 理事の選任について  
5) 理事の補欠選任について

### (4) 第3回理事会

定款第50条に基づき書面表決による開催とした。

書面表決日 令和5年8月3日

議決事項 令和5年度第2回評議員会の開催について

### (5) 第2回評議員会

定款29条に基づき書面表決による開催とした。

書面表決日 令和5年8月23日

議決事項 評議員の補欠選任について

### (6) 第4回理事会

定款第50条に基づき書面表決による開催とした。

書面表決日 令和6年1月30日

議決事項 令和5年度第3回評議員会の開催について

(7) 第5回理事会

- 日 時 令和6年3月21日  
場 所 一般財団法人長寿社会開発センター第一会議室  
及びオンライン会議システムzoomを併用  
議 決 事 項 1) 令和6年度事業計画について  
2) 令和6年度収支予算について  
3) 職員給与規程の一部改正について

(8) 第3回評議員会

- 日 時 令和6年3月26日  
場 所 一般財団法人長寿社会開発センター第一会議室  
及びオンライン会議システムzoomを併用  
議 決 事 項 1) 令和6年度事業計画について  
2) 令和6年度収支予算について  
3) 理事の選任について  
4) 役員の報酬及び費用に関する規程の一部改正について

## 第2 センターの事業

### I 高齢者の生きがいと健康づくり推進事業

#### 1 全国健康福祉祭（ねんりんピック）開催事業

第35回全国健康福祉祭えひめ大会（ねんりんピック愛顔のえひめ2023、令和5年10月28日～31日）を厚生労働省及び愛媛県等とともに開催し、次の事業を実施した。

##### 全国健康福祉祭の開催

① 地域の経済波及効果
129億1,700万円
② 選手等の参加者数
10,537人
③ 延べ参加者数
約53万人

#### (1) 音楽文化祭の開催

高齢者をはじめ幅広い世代の出演者による音楽文化祭を開催した。

- 開 催 日 令和5年10月29日(日)  
会 場 愛媛県県民文化会館・メインホール  
観覧者総数 約1,500名  
出 演 団 体 愛媛県立内子高等学校 他3団体  
ゲ ス ト トワエモワ

- (2) 総合開会式等のインターネット中継等の実施  
総合開・閉会式、各交流大会等の映像をインターネットを使って中継するなどの取り組みを行った。
- (3) ねんりんピック参加選手の体験談集の発行  
選手派遣団体を通じて参加選手の体験談を募集し、体験談集としてとりまとめるとともに、ホームページで公開した。
- (4) ねんりんピック参加選手登録システムの運用  
選手登録事務手続きの効率化を図るために開発したシステムの改良、運用を行った。
- (5) 「心豊かに歌う全国ふれあい短歌大会」優秀作品の展示  
介護や支援を受けている高齢者やその家族などの生きがいがづくりの一環として、宮崎県社会福祉協議会が実施した短歌大会の優秀作品(2022年度分)を展示した。
- (6) 高齢者に対する情報発信コーナーの設置  
ふれあい広場に設置した情報発信ブースにおいて、地元の活動グループ「折り紙サークルつばき」のメンバーによる折り紙指導の他、高齢者の生きがい健康づくりに関する情報誌の配布を行った。また、健康・体力づくり事業財団によるロコモ度チェックや健康運動指導士等の紹介を行った。

## 2 都道府県明るい長寿社会づくり推進機構への支援

全国明るい長寿社会づくり推進機構連絡協議会との連携を強化し、生きがい健康づくり活動の活性化を図った。

- (1) 全国明るい長寿社会づくり推進機構連絡協議会への助成  
全国明るい長寿社会づくり推進機構連絡協議会の活動を支援するために、助成を行った。
- (2) 全国明るい長寿社会づくり推進機構連絡協議会活動（総会、ブロック会議、幹事会、テーマ別会議、実務担当者会議、職員研修会等）への支援  
推進機構間の連携強化及び当センターと推進機構との連携強化を図るために、推進機構連絡協議会総会（2回）、全国7ブロックの代表による幹事会（3回）の開催について支援を行ったほか、テーマ別の会議（4回）、実務担当者による会議（3回）を設けるなど効果的・効率的な活動が展開できるよう支援を行った。
- (3) 都道府県明るい長寿社会づくり推進機構が実施する高齢者の人材育成講座の開催や他団体との連携事業等への助成

明るい長寿社会づくり推進機構が実施する新規事業及び既存事業の見直しにかかる取り組みに対して助成を行った。

〈助成団体〉

(公財)長野県長寿社会開発センター  
「シニアの社会参加推進事業」

### 3 啓発普及事業

(1) 情報誌「PORTA」の発行（年3回）

高齢者の生きがい健康づくりを啓発普及するための情報誌「PORTA」を発行し、関係機関及び高齢者大学の学生等に配布した。

4月、8月、12月発行 発行部数 合計 36,000部

(2) 研究紀要「生きがい研究第30号」の発行

高齢者の生きがいに関する研究紀要「生きがい研究第30号」を発行した。研究者による論文発表、団体やNPO等が実施する高齢者の生きがい健康づくりに関する取り組みを掲載し、全国の公立図書館、大学図書館及び関係機関等に配布した。

年1回発行 発行部数 4,100部

## II 地域包括ケア推進事業

### 1 地域包括支援センター職員研修等

地域包括支援センターの職員等の資質向上に資することを目的に次の研修を実施した。

(1) 地域包括支援センター職員基礎研修

地域包括支援センター職員等が、地域包括支援センターの意義・役割、具体的な業務内容、他の専門職種・関係機関との連携等について理解し、業務を行う上で必要な知識の習得及び技能の向上を図る研修をオンデマンド配信により実施した。

○テーマ 「地域共生社会の実現に向けた地域包括ケアシステム」と「地域包括支援センターの概要」、総合相談支援業務、包括的・継続的ケアマネジメント支援業務、権利擁護業務、自立支援に資する介護予防ケアマネジメントの5科目

○対象者 原則、地域包括支援センターへの勤務が6か月以内の職員、今後勤務する予定の者、

今年度初めて地域包括支援センターを担当する保険者  
(市区町村) 職員

○配信期間 令和5年7月28日～8月31日

○受講者数 928名

○カリキュラム及び時間

- ・「地域共生社会の実現に向けた地域包括ケアシステム」と「地域包括支援センターの概要」(1時間)
- ・総合相談支援業務(2時間)
- ・包括的・継続的ケアマネジメント支援業務(1時間)
- ・権利擁護業務(3時間)
- ・自立支援に資する介護予防ケアマネジメント(3時間)

○受講者アンケート結果(業務を遂行する上で参考になったか)

「地域共生社会の実現に向けた地域包括ケアシステム」と「地域包括支援センターの概要」

大変参考になった	参考になった	まあまあ参考になった	あまり参考にならなかった	全く参考にならなかった
47.9%	47.7%	4.3%	0.0%	0.1%

総合相談支援業務

大変参考になった	参考になった	まあまあ参考になった	あまり参考にならなかった	全く参考にならなかった
57.0%	40.1%	2.9%	0.0%	0.0%

包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

大変参考になった	参考になった	まあまあ参考になった	あまり参考にならなかった	全く参考にならなかった
47.0%	45.2%	7.7%	0.1%	0.0%

権利擁護業務

大変参考になった	参考になった	まあまあ参考になった	あまり参考にならなかった	全く参考にならなかった
57.5%	37.5%	4.7%	0.3%	0.0%

自立支援に資する介護予防ケアマネジメント

大変参考になった	参考になった	まあまあ参考になった	あまり参考にならなかった	全く参考にならなかった
54.2%	39.6%	5.6%	0.6%	0.0%

## (2) 地域包括支援センター職員課題別研修

地域包括支援センター職員が、身につけておくべき思考と協働、多職種チームで多様なニーズを受け止めることなどについて、グループワーク等による演習を盛り込んだ研修を、Zoomのライブ配信で2コース実施した。

○テーマ Aコース：介護予防ケアマネジメント深掘り講座  
Bコース：複合的な課題を抱える世帯の支援

○対象者 地域包括支援センター職員及び地域包括支援センターを担当する市町村職員

- 開催日 A) 令和5年8月26日（1回）  
 B) 令和5年10月17日、令和5年10月26日、11月2日（3回）
- 受講者数 A) 52名  
 B) 461名
- 受講者アンケート結果（業務を遂行する上で参考になったか）

A) 介護予防ケアマネジメント深掘り講座

大変参考になった	参考になった	まあまあ参考になった	あまり参考にならなかった	全く参考にならなかった
42.4%	39.4%	18.2%	0.0%	0.0%

B) 複合的な課題を抱える世帯の支援 ※3回平均

大変参考になった	参考になった	まあまあ参考になった	あまり参考にならなかった	全く参考にならなかった
53.0%	42.0%	4.0%	1.0%	0.0%

(3) 地域包括ケア担当職員セミナー

自治体職員・地域包括支援センター職員等を対象に、地域包括ケアの推進に資する内容について、厚生労働省担当官や実務者による講義をオンデマンド配信した。

○配信期間 下記テーマ別に配信開始～令和6年5月13日

- テーマ
- 1) 「利用者が元気になる介護予防プラン～喜びを感じるケアプランを作ろう～」 配信開始: 8/ 4 視聴回数:6,454回
  - 2) 「縦割りを飛びこえて課題の見つけ方・向き合い方・面白がり方」 配信開始: 8/22 視聴回数:3,053回
  - 3) 『「パターン・ランゲージ」を活用したソーシャルワーク実践のコツ』 配信開始:11/15 視聴回数:1,665回
  - 4) 『「LIFE-意思決定支援の基本的な考え方-』で学ぼう意思決定支援』 配信開始: 3/12 視聴回数:1,570回
  - 5) 「地域包括支援センターの現状と課題」 配信開始: 3/12 視聴回数:1,808回

(4) 成年後見制度利用促進体制整備研修事業

平成29年3月に閣議決定された「成年後見制度利用促進基本計画」を踏まえ、全国どの地域においても必要な人が成年後見制度を利用できる地域体制の構築を図るため、市区町村職員や中核機関職員等を対象に研修を実施した。

1) 基礎研修（主に市区町村・中核機関等職員対象）

- ・オンデマンド型研修 14.5h 令和5年8月7日～令和6年2月29日
  - ・ライブ演習型研修 16.0h 令和5年9月14日、15日、19日
- 受講者数 322名

令和5年10月12日、13日、16日

受講者数 345名

2) 応用研修（主に、中核機関等職員対象）

- ・オンデマンド型研修 5h 令和5年12月18日～令和6年2月29日
  - ・ライブ演習型研修 15h 令和6年1月19日、22日、23日
- 受講者数 532名

3) 都道府県担当職員・アドバイザー向け研修（主に、県職員、県社協担当者）

- ・オンデマンド型研修 15.2h 令和5年10月10日～令和6年2月29日
- ・ライブ演習型研修
  - 都道府県担当職員 5.45h 令和5年11月9日 受講者数 47名
  - 体制整備担当対象 5.45h 令和5年11月29日 受講者数 49名
  - 権利擁護支援担当対象 4h 令和5年11月13日 受講者数 137名
  - 意思決定支援研修担当対象 4h 令和5年11月20日 受講者数 117名
  - 総合演習 6h 令和5年12月15日 受講者数 244名

4) 後見人等への意思決定支援研修（主に、後見人、中核機関職員、等）

- ・ライブ演習型研修 3.5h 令和6年1月28日 受講者数 534名

## 2 介護人材研修

介護職員の資質向上に資することを目的に、介護職員の指導的立場にある者に対してウェブ形式により研修を実施した。

(1) 生活支援技術演習講師養成研修会

○配信期間 令和6年1月15日～2月29日（オンデマンド配信）

○研修内容

「介護過程を理解する4つのステップ」

- ・ステップ1 見て・聞いてみよう（アセスメントの基本）
- ・ステップ2 気づいてみよう（知識と経験の活用）
- ・ステップ3 自身の経験を題材に介護過程の理解を深めてみよう
- ・ステップ4 やってみよう、考えてみよう（アセスメントの実践）

(2) ホームヘルパー現任研修

〈中央研修会〉

○配信期間 令和5年12月15日～令和6年3月31日（オンデマンド配信）

○研修内容

「高齢の難聴の方に携わる人のための実践快語講座」

～高齢者の難聴に関する正しい理解と対応方法について～

「ヘルパーの人材確保」

### Ⅲ 長寿社会に関する調査研究事業等

#### 1 調査研究企画

地域包括ケアの深化及び地域共生社会の推進の一助となるべく、過去に実施された調査研究事業等を参考に研究テーマを選定した。

#### 2 各種調査研究事業の実施

地域包括ケアの深化及び地域共生社会の推進の一助となるべく、次の調査を実施した。また、令和5年度に研究倫理審査委員会（IRB番号 23000063）を設置した。

- (1) 「ケアプラン作成業務に従事していない介護支援専門員に関する実態調査」
  - 調査1) 過去にケアプラン作成業務に従事し、現在、介護保険サービス事業所に勤務する者(N=131)
  - 調査2) 過去にケアプラン作成業務に従事し、現在、他の業種で勤務する者(N=148)
- (2) 「介護保険制度における居宅サービス(介護予防サービス、地域支援事業含む)の利用者および利用者の家族等に対する実態調査」
  - 調査1) 利用者本人調査(N=323)
  - 調査2) 家族等調査(N=1,132)

※ (1) (2)の調査とも比較分析を実施した。

#### 3 介護人材確保対策に関する調査研究事業

「介護員養成研修のあり方に関する調査研究事業（老人保健健康増進等事業）」を実施した。

- 調査1) 養成研修機関調査(N=783)
- 調査2) 訪問介護事業所調査(N=716)
- 調査3) 介護職員初任者研修修了者調査(N=614)
- 調査4) ヒアリング調査(11ヶ所)

#### 4 その他

過去の調査結果を基に、以下をテーマに各種セミナーを実施した。

- (1) 研究セミナー（オンデマンド配信）
  - 申込者数 2,891名
  - 1) 「こんなときどうする!? 精神疾患のある方の支援のポイント」  
配信期間:令和6年1月22日～2月20日

- 2) 「組織力アップのためのマネジメント～チーム力を高め、持続可能な組織をつくるリーダーの役割～」

配信期間:令和6年2月1日～3月1日

○受講者アンケート結果（業務を行ううえで参考になったか）

- 1) 「こんなときどうする!? 精神疾患のある方の支援のポイント」

大変参考になった	参考になった	参考にならなかった	まったく参考にならなかった
71.6%	28.3%	0.1%	0.0%

- 2) 「組織力アップのためのマネジメント～チーム力を高め、持続可能な組織をつくるリーダーの役割～」

大変参考になった	参考になった	参考にならなかった	まったく参考にならなかった
45.8%	51.3%	2.7%	0.2%

- (2) 特別セミナー（オンデマンド配信）

○配信期間 令和6年3月29日～4月30日

○申込者数 5,528名

○テーマ

- 1) 「令和6年度介護報酬改定のポイント(居宅介護支援関係)」
- 2) 「令和6年度介護報酬改定のポイント(訪問介護・通所介護関係)」

## IV 出版事業

介護職員及び介護支援専門員の養成研修等に関する図書の作成と販売促進を図った。

- (1) 発行図書

- 1) 介護職員初任者研修テキスト (2021年 9月発行) (2訂2版)
- 2) 介護職員初任者研修テキスト ルビ版 (2021年10月発行) (2訂3版)
- 3) 介護福祉士養成実務者研修テキスト (2021年10月発行) (2訂2版)
- 4) 介護支援専門員基本テキスト (2021年 5月発行) (9訂)
- 5) 介護支援専門員実務研修テキスト (2024年 3月発行) (8訂)
- 6) 居宅サービス計画書作成の手引 (2021年12月発行) (7訂)
- 7) 地域包括支援センター運営マニュアル (2022年4月発行) (3訂)
- 8) 医師アウトリーチから学ぶ地域共生社会実現のための支援困難事例集  
(電子書籍も作成) (2023年6月発行) (初版)

- (2) 顧客ニーズへの対応等

介護福祉士養成実務者研修テキスト対応のeラーニングシステムの開発、顧客への継続的インフォメーション配信のためのシステム導入をした。

また、上記8) に関しては、アマゾン・楽天ブックス等でのネット販売を開始した。